



# 農業委員会 だより



佐野ブランドキャラクターさのまる

第 16 号

令和 3 年 3 月  
編集・発行  
佐野市農業委員会  
佐野市高砂町 1 番地  
TEL 0283(20)3059



農地等の利用の最適化の推進に関する意見書を提出



わな猟講習会へ参加



農地パトロールを実施

**新しい農業委員、  
農地利用最適化推進  
委員が就任しました。**

※詳しくは 4・5 ページをご覧ください

## — 主な内容 —

- ◇会長あいさつ・会長職務代理者あいさつ ..... 2 P
- ◇鳥獣害対策研究部会活動報告 ..... 3 P
- ◇農業委員・農地利用最適化推進委員紹介 ..... 4 P・5 P
- ◇市への意見書の提出・耕作放棄対策研究部会活動報告 ..... 6 P
- ◇新しい担い手の紹介 ..... 7 P
- ◇編集後記 ..... 8 P

## 農業委員会会長あいさつ

佐野市農業委員会 会長 志賀 喜一

佐野市農業委員会は昨年7月20日に改選が行われ、新体制がスタートいたしました。任命式後の総会において、農業委員会会長の重職を引き受けることになり、身の引き締まる思いでございます。

令和元年10月12日の台風第19号による大雨は佐野市においても秋山川、旗川の越水や決壊で住宅や農業用ハウス、農地に甚大な被害を与えました。市では今でも災害復興の最中にありますが、1日も早い復興が待たれます。被災されました皆様に対して心よりお見舞い申し上げます。

また昨年は世界中で新型コロナウイルスが拡大し、経済活動が縮小するなど極めて厳しい年でした。感染拡大が懸念されていますが、手洗いうがい、三密を避けるなど感染予防を徹底しながら早期終息を願うばかりです。

さて、農業委員会では令和2年11月25日に「佐野市農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」を岡部佐野市長に提出しました。その後行われた意見交換会では今後の農業施策の方針について有意義な意見交換を行うことができました。

今後とも関係機関と連携しながら農業者の代表として、地域の皆様と共に何でも気軽に相談できる身近な農業委員会として農業委員、農地利用最適化推進委員一丸となつて地域農業の推進に向けて活動してまいりますので、皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。



## 会長職務代理者あいさつ

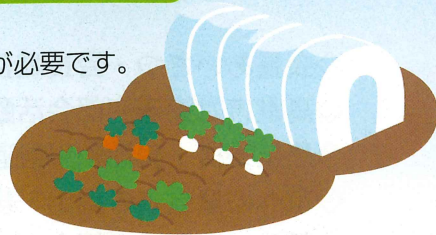
佐野市農業委員会 会長職務代理者 川上 美由紀

5年後10年後、佐野市の農業はどうなってしまうのか、大きな難題が横たわっています。後継者を育てるには、農業はやりがいがあり且つ、収入の多い仕事でなくてはなりません。そのためには個人経営の他に、地域営農や法人化などを更に積極的に取り入れられるよう、周知していくことも大切です。また、6次産業化においても希望は大いにあります。

中山間地域における耕作放棄地も大きな問題の一つで、獣害の温床にもなり、これ以上増やさず、できる限り解消していく事が求められています。それには地域の方々との連携を更に強化していく必要があると思います。農業は生きる上で一番大切な食料生産を担う産業です。地域の皆様のご協力を賜りながら、農業委員会も一丸となつて、様々な問題に取り組んでまいります。

## こんなときは手続きが必要です!

- 農地の売買や貸し借りのとき  
農地を売買・交換・贈与するとき、貸し借りをするとき、許可が必要です。
- 農地を転用するとき  
農地を農地以外（住宅、太陽光発電、駐車場など）に  
するときは許可や届出が必要です。
- 農地を相続したとき  
農地を相続したときは届出が必要です。



各種申請は原則毎月10日が締切です。（問い合わせ 農業委員会事務局 ☎20-3059）

※締切日は変更になることがありますので、お問い合わせください。

## わな猟講習会

鳥獣害対策研究部会

部会長 **相場重雄**

鳥獣害対策研究部会では有害鳥獣による被害が深刻化している中山間地域の皆さんが少しでも安心して農業が営めるよう、講習会等を通じて有害鳥獣の捕獲技術を学び、その普及推進を図るために活動しています。

令和2年11月6日、佐野市戸奈良町の山林で開かれた佐野市有害鳥獣被害対策協議会主催のわな猟講習会に、部会員を中心



多くの委員が講習会に参加しました。

## 農業青色申告のすすめ

佐野市農業青色申告会では、会員を対象に各種申告書類の書き方・提出について講習会や相談会を開催しております。

新たな会員を募集しています。申し込みは佐野市農業青色申告会事務局へ  
(農業委員会事務局内  
電話20-3059)

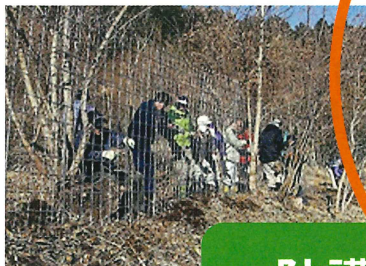
とした農業委員、農地利用最適化推進委員が参加しました。講習会では猟友会の方から実際に箱わな、くくりわなを用いながら基本的な知識を教わり、鳥獣の捕獲の大変さを改めて実感しました。  
今後が増え続けると思われるイノシシやシカ、サルなどの被害を防ぐために、これからも講習会や研修会に参加して新しい知識や技術を身につけて地域の皆さんと共に協力し話し合ったいと思います。

# 鳥獣害対策の基礎



環境整備

藪などの刈り払い  
放任果樹の除去など



防護

電気柵や  
侵入防止柵の設置

地域ぐるみで  
3つの対策を  
総合的に実施



捕獲

有害鳥獣の捕獲  
※捕獲には狩猟免許と許可が必要

捕るだけでは  
被害は減らない

# 新農業委員紹介

令和2年7月20日より市長の任命をうけ、新しい農業委員が活動を始めました。

佐野市の農家の代表として農地の利用の最適化の推進に取り組んでおります。

氏名  
①住所  
②担当地区



小林秀男

- ①飯田町
- ②植野地区

農地集積や新規就農者への支援を通じて、市の農業振興に寄与してまいります。



大臚 孝

- ①船津川町
- ②植野地区

農業委員の職責を理解し、法令の遵守と農業の発展に尽力します。



志賀喜一

- ①赤見町
- ②赤見地区

農地法を遵守し、地域農業振興のため、頑張ります。



若田部 明

- ①堀米町
- ②佐野・堀米・旗川地区

法令に基づき公正に農地制度を運用し、農地最適化に努めます。



本島光雄

- ①栃本町
- ②栃本・田沼北部地区

佐野市の農業振興と後継者の育成に努めてまいります。



金子一郎

- ①戸奈良町
- ②田沼・戸奈良・田沼南部地区

農地、畦畔の管理は地主、借主の重大な責務です。定期的なパトロールをしています。



川田恒夫

- ①村上町
- ②吾妻地区

耕作放棄地を少しでも減らす農家の相談役として担い手のため頑張ります。



野村春男

- ①下羽田町
- ②吾妻地区

耕作放棄地解消、農地の集積に努力してまいります。



小関昭男

- ①西浦町
- ②界・犬伏地区

耕作放棄地の解消や担い手の育成等、地域農業発展に努力します。



澁江修身

- ①小見町
- ②界・犬伏地区

新規就農者への支援と多面的機能支払交付金に取り組み、地域の共同活動の実施を目指します。



立川久恵

- ①牧町
- ②常盤・氷室地区

耕作放棄地の解消や、地域農業振興に努めてまいります。



石川俊雄

- ①牧町
- ②常盤・氷室地区

佐野市の農業環境の保全と維持のために努めます。



新井 勉

- ①中町
- ②葛生地区

地域の農業振興に努力し、獣害対策に取り組み、農業の躍進に努力します。



相場重雄

- ①下彦間町
- ②新合・飛駒地区

中山間地域の鳥獣被害や耕作放棄地の解消に努力してまいります。



向田栄一

- ①船越町
- ②三好・野上地区

ホタル舞う里山を取り戻したい。そんな気持ちで全力で取り組みます。



川上美由紀

- ①岩崎町
- ②三好・野上地区

佐野市の多様な農地形態を十分に活かせるよう活動してまいります。

# 新農地利用最適化 推進委員紹介

農地利用最適化推進委員は地元地域に密着した活動により、農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消に取り組んでおられます。

氏名  
①住所地区  
②担当地区



青村 章

- ①伊保内町
- ②植野地区

地域の方の協力を得て、耕作放棄地発生防止に努め、魅力ある農業経営にもつていくよう努めます。



小菅喜市

- ①大古屋町
- ②植野地区

農地利用最適化に地域農業者と共に取り組みでまいります。



尾花 収

- ①出流原町
- ②赤見地区

耕作放棄地の解消、鳥獣害対策に取り組む、地域農業発展に努力します。



峯岸一浩

- ①並木町
- ②佐野・堀米・旗川地区

農地利用の集積や耕作放棄地の解消に取り組む、地域農業の振興に努めてまいります。



秋山 清

- ①山越町
- ②栃本・田沼北部地区

地域の方々の協力を得て、農業発展のため、努力いたします。



澁江俊也

- ①小見町
- ②田沼・戸奈良・田沼南部地区

最適かつ永続的な農地利用について、後継者の目線で取り組みます。



佐取俊昭

- ①高橋町
- ②吾妻地区

農地の環境保全のため耕作放棄地発生解消に努めてまいります。



宇佐美義伸

- ①上羽田町
- ②吾妻地区

耕作放棄地の解消、鳥獣害対策をし、地域農業のため頑張ります。



石井和美

- ①高萩町
- ②界・犬伏地区

耕作放棄地の発生防止にむけ、努力してまいります。



須藤伊佐男

- ①富岡町
- ②界・犬伏地区

地域農業の発展のため、農地法に基づき努力してまいります。



縫田重吉

- ①牧町
- ②常盤・氷室地区

耕作放棄地、鳥獣害対策を目標に、微力ではありますが、頑張ります。



中島敏男

- ①中町
- ②葛生地区

耕作放棄地の解消と地域農業の発展のため努力いたします。



提箸久雄

- ①飛駒町
- ②新合・飛駒地区

中山間地域の耕作放棄地が減少するよう努力いたします。



松村 繁

- ①閑馬町
- ②新合・飛駒地区

地域農業の発展、遊休農地の発生防止に微力ながら頑張ります。



亀山政義

- ①御神楽町
- ②三好・野上地区

地域農業活性化に向け鳥獣害対策と耕作放棄地解消に努めます。



亀田健一

- ①船越町
- ②三好・野上地区

中山間地域の耕作放棄地の発生防止、解消にむけ努力いたします。

**佐野市長に令和3年度  
農地等の利用の最適化の  
推進に関する意見書を提出**



意見の内容を説明する志賀会長

農業委員会では、「令和3年度佐野市農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」をまとめ、11月25日に岡部市長に提出しました。また、市長と農業委員、農地利用最適化推進委員との意見交換も行いました。

主な内容は、次のとおりです。

- 一、鳥獣害対策
- 二、担い手の確保と支援
- 三、中山間地域の農地保全
- 四、耕作放棄地対策

※詳細は佐野市ホームページをご覧ください。

**「耕作放棄地解消  
にむけて」**

耕作放棄対策研究部会  
部会長 **本島光雄**

農業委員会における重要な役割の一つに耕作放棄地の発生防止と解消があります。

耕作放棄地は全国的な問題となっており、数年前の全国調査では、埼玉県の面積に相当する耕作放棄地があることもわかりました。

佐野市においても例外ではなく、特に中山間地域の農地に耕作放棄地が見られます。



農業委員会では市内の農地パトロールを行っています。

農地は管理を放棄すると、雑草や樹木が生え、数年も経過すると耕作可能な農地に戻すのが大変困難となります。また、耕作放棄地は害虫や獣害の発生、火災の原因にもなりますので早めの対策が重要です。

農業委員会では現状の把握と解消のため、農業委員、農地利用最適化推進委員で連携を図りながら、農地パトロールなど日々の活動に取り組んでまいります。

**お持ちの農地について**

- ・ 高齢で耕作が続けられない…
- ・ 相続したが管理できない…

**佐野市農業公社** にご相談ください!

- ① 借り手を探すお手伝いをします。
- ② 借り手が見つかった際の契約の手続きをします。

**(公財) 佐野市農業公社**

電話 0283-21-5489 〒327-0007 佐野市金吹町235-1

**農地は適正に管理しましょう**

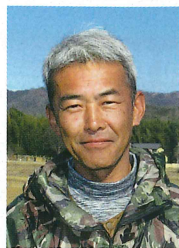
耕地放棄地は、冬は枯れ草が火災原因となり、夏は病害虫等の発生の原因になり、イノシシ等有害鳥獣の隠れ場所にもなります。  
耕作放棄地にならないよう、定期的な除草にご協力ください。



# 第12回 新しい担い手を紹介します!

「佐野に移り住んで。」

小宮 稔さん (台東区)



宮生 まれ東京育ちの小宮稔さんが佐野市

に訪れたきつかけはなんと趣味のゴルフを楽しむためでした。佐野市で過ごすうちに家族も土地柄を気に入って、本格的に移住を考えていた所、農業をリタイアした知人から家と農地を譲ってもらおう機会があり、令和2年から本格的に農業を始めました。

「全てが始めての経験で、まず、自分の農地の場所を覚える所からでした。譲り受けた際に聞いていた農地の場所が間違っていて、別の場所を草刈りしたり、耕してしまったこともあり。事実を知った時は怒られるかと思いましたが、相手も高齢で実は誰かに管理してほしかったと聞いて、私が借りて耕作することになったんですよ。」と、小宮さんは始めた頃のことを笑いながら教えてくれました。

現在はネギやかき菜を栽培しており、農協に納めるほか、近所の方や知り合いにも販売しています。特にていねいに摘み取ったかき菜は周囲からも好評だそうです。

今後の目標を伺うと、規模の拡大や雇用の充実、ブランド価値の向上を通じて農地と地域活性化を目指したいと話します。



今後の活躍が期待されます。

「技術を磨いてより良いイチゴを！」

亀井 宏光さん (小中町)



農協で農業機械に関わる仕事をしていた亀井宏光さんは、働く中で農業

や農家さんに接する機会が多くあり、特にイチゴ農家としての就農に興味を自然と生まれました。



就農前から、積極的に研修を受けたり、周囲の先輩農家や若手農家の方々に相談を重ねることで農業への知見を深めていき、現在は小中町にあるハウス6棟でスカイベリーを栽培しています。

農業一年目を振り返り、「1年目は手探りで農業でしたが、多くの人に支えられ、無事にたくさんスカイベリーを収穫できて安心していきますよ。」と冷静にコメントされています。

今後の目標について尋ねると、「規模の拡大も重要ですが、まずは自分の手の届く範囲を大切に、農業技術を磨きながら品質や収量の向上を目指していきたいです。」と意気込みをいただきました。

営農・生活に役立つ

農業総合専門誌。

全国農業



新聞

を読みましよう!

購読申し込みは

農業委員会事務局、  
農業委員・農地利用  
最適化推進委員へ

老後の備えとして

国が支える

積立方式  
で安心

農業者年金

次の3つの要件を満たす方であれば、どなたでも加入できます。

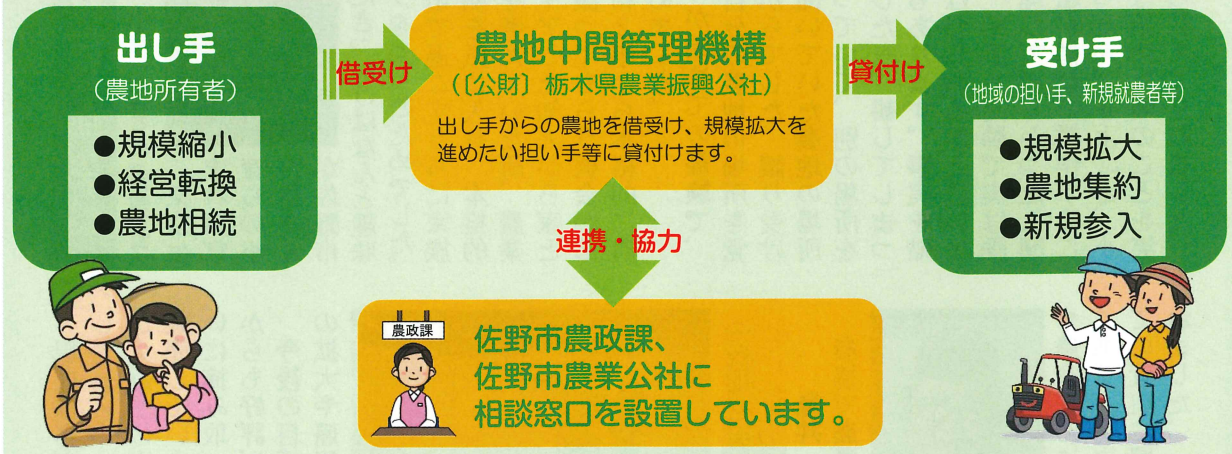
年間60日以上  
農業従事

国民年金1号  
被保険者  
国民年金保険料  
納付免除者を除く

60才未満

# 中間管理機構を活用しましょう!

## 農地中間管理事業の仕組み



農地中間管理機構は農地を貸したり借りたりする際の中間的な受け皿となる機関です。農地中間管理機構の活用により、「農業をリタイアして貸したい」「相続した農地を貸したい」「分散した農地をまとめて条件を良くしたい」などの地域の様々な意見を反映した農地の利用を目指せます。

また、まとまった農地を機構に貸し付けた地域や機構へ農地を貸し付けることにより経営転換・リタイアする個人に対し協力金が交付されます。

佐野市の上羽田地区において、地域の農業委員も参加し、話し合いを重ねて作成した「人・農地プラン」をもとに、地区の12人の担い手へ約52.9ヘクタールの農地の貸付が実現しました。

条件はありますが、農地を貸した方、借りた方、そして上羽田地域には集積協力が交付され、地域への交付分は農道や水路の整備に役立てられています。

地域ぐるみでの将来を見据えた農地の最適な利用に関して、ぜひ農地中間管理機構をご利用ください。

※お問い合わせはこちらまで

佐野市農政課

(0283-20-3043)

佐野市農業委員会

(0283-20-3059)

## 編集後記

農業委員会だより第16号発行にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

令和2年度はコロナウイルス感染症の影響で活動を中止、縮小する場面もございましたが、感染対策に配慮をしながら、佐野市の農業発展のため各活動を行ってまいりました。

これからも本誌を通して委員の活動や地域農業の情報をわかりやすく、親しみやすく伝えていきたいと思っておりますので、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

## 編集委員

編集委員長 志賀 喜一  
編集副委員長 川上美由紀  
編集委員

金子 一郎 小林 秀男  
立川 久恵 野村 春男